令和７年　１月３１日

君津市議会議長　小倉　靖幸　様

令和新政　会長　鶴岡　一成

会派視察報告書

令和新政 視察報告書を次のとおり提出いたします。

１　期　　日：令和 7 年 1 月 20 日(月)～1 月 22 日(水)

２　視察場所及び内容：

【１】生駒市役所(奈良県生駒市)
介護予防事業について

【２】和泉市役所(大阪府和泉市)
①新庁舎の整備について,
②和泉市インターネット上の誹謗中傷や差別等の人権侵害のない社会づくり条例について※書面のみ

【３】えみくる ARIDA, BIG SMILE PARK（和歌山県有田市)
有田市健康スポーツ公園 BIG SMILE PARK について

３　参加議員：鶴岡一成，小倉靖幸，三浦章，天笠等，大和ヒロシ

４　交通機関：高速バス，新幹線，電車，飛行機

生駒市役所～介護予防事業について～

1.生駒市概要
　面積：53.15km2
　人口：116,549 人（2024 年 12 月 1 日）

2.視察の流れ
　①生駒市役所議場見学
　②令和新政会長挨拶
　③出席職員紹介
　④配布資料説明
　⑤介護予防事業説明
　⑥質疑応答
　⑦令和新政代表挨拶

3.事前の質問に対する回答
Q1.介護予防を始めるきっかけは何が多いのでしょうか？
A1.市が作成しているチェックリスト、市の広報、介護申請の窓口、医師からの紹介、包括からの電話、訪問、住民主体の集まりの中で職員が見つける、いきいき 100 歳体操を地域でグループを作り実施してもらう。

Q2.介護予防に取り組む割合で男女に差はあるのでしょうか？
A2.集計はしていないが、圧倒的に女性が多い。女性の方が地域に根ざしている方が多いのと、情報をキャッチするのが早い。逆に男性は孤独を好む方が多い。奥様と一緒に行くのも照れてしまう。
ただ、健康づくり推進委員は男性の方が多い。

Q3.今後考えられている新たな介護予防の取り組みはございますでしょうか？
A3.目新しいのはないが、ボランティアが高齢化してきているので、ボランティアの養成講座を新たに企画している。

Q4.訪問サービスの市での研修はどれくらいの期間行われるものでしょうか？
A4.3 日間 21 時間の研修、定員 40 名。予算は 30 万円※講師の報酬等。なお、財源は奈良県。

Q5.転倒予防教室での座学はどのような内容でしょうか？
A5.転倒しやすい人や転倒したことがある人を対象とした、転倒しないためには何に気をつけ、どんな運動やトレーニングをすれば良いかをレクチャーする。

Q6.介護予防にはボランティアの方も参加されているようですが、どのようにボランティアを募集されておりますでしょうか？
A6.介護予防を卒業された方がボランティアとして手伝ってくださっている。

4. 各議員からの質疑等
鶴岡議員
Q.いきいき 100 歳体操の参加者は年々増えておりますでしょうか？
A.自主的な活動のため市には人数の報告をいただいていない。ただ、教室の数は増えているので、参加者も増えているだろうと思われる。

Q.教室数を増やすための策などあるのでしょうか？
A.職員が地域に出向いて広めていく。地道な活動しかない。説明の方法は DVD を映写し映像を用いている。続けるためのフォローとしては、大学の教授に講義を行ってもらうなどしてモチベーションを高めている。

Q.認知症支えたい事業の運営費はどこから出ているのでしょうか？
A.ほぼボランティア。交通費はお渡ししている。

Q.地域支え合いの移動手段はボランティアなのでしょうか？
A.サービス D と呼ばれるもので行政が関わりづらい部分であり、現在は地域で行っていただき意見を伺っている段階。

Q.訪問型サービス A のヘルパー資格の無い人は現在生駒市に何人いらっしゃいますでしょうか？
A.市では把握できていない。事業者は 20 事業者。市内が 13 事業者。

Q.ヘルパーの訪問は資格を持った人に、資格を持ってない人が何人かで付き添って行うのでしょうか？
A.訪問はヘルパー1 人で行う。30 分～1 時間の作業。

天笠議員
Q.送迎付き介護予防教室について、送迎の費用はどこから出ているのか？
A.生駒市が社会福祉法人に対して委託料として払っている。

Q.予防教室は地域包括の方がチェックし、地域の自治会等と連携されているのでしょうか？
A.広報に載せると手挙げ式となり、送迎のエリアから外れるとお断りする場合もある。他の事業やサービスを受けている方もお断りしている。
本事業は 80 歳以上が対象。送迎付きは予防教室まで歩いて来る途中で怪我をしてしまわないように実施している。プログラムやケアプランをお渡しする等、かなり面倒を見ていただかなければならなくなるので、社会福祉法人に委託している。

Q.予防教室が増えているのは住民主体の部分が本当に上手くいっているからだと思うが、何か原因は考えられるでしょうか？
A.平成 24 年前後にボランティア養成講座に力を入れていたのが、これらのボラ

ンティアの礎を築いていると思われる。この時の教室の工夫としては 12 回講座で月一回行っていて、さらに自分達で何ができるかを色々考えてもらっていた。自分で考えたボランティアの方が長続きする。

三浦議員
Q.就労トライアルはボランティアではないのでしょうか？
A.ボランティアではなく時給。最低賃金以上はいただいている。事業者によって時給が違うため、時給が高いところに集まりがち。

Q.応募者はどれくらいいらっしゃるのでしょうか？
A.今年度が初の試みでしたが 15 名。来年度も継続予定。

Q.就労トライアルでもっと人手は必要なのでしょうか？
A.専門職の方が専門の仕事を集中してできるようにする、その補助に入ってもらいたい。

Q.就労トライアルは事業所が直接募集するのではなく、間に市が入るのでしょうか？
A.事業所の合同説明会を市の主催で行い募集を募る。

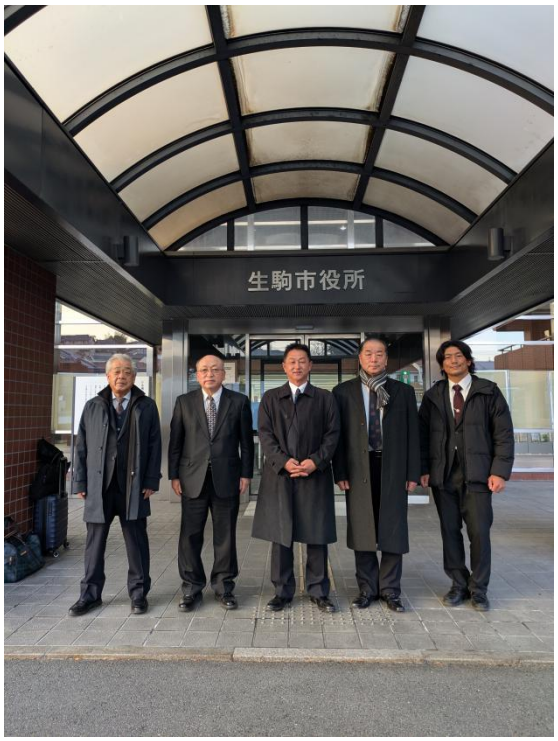
Q.パワーアップ教室の改善率の高さが生駒市の特徴とのことですが、何が違うから改善率が高くなるのでしょうか？
A.地域ケア会議をしっかりしているので、個人の経過を管理できている。改善率は 7 割。

Q.転ばないための教室はどのようなことを行うのか？
A.トレーニングだけでなく、転びにくい靴の選び方等も座学で行う。

5.所感
　介護予防を始めてもらうに当たり、まずはとにかく足を運び、その地域の中に入っていくことを大切にされているように感じた。確かに優れた取り組みであっても、実践していただかなければ意味がない。生駒市の介護予防の事績の多さは、もしかしたらこの「如何に実践していただけるようにするか」と取り組まれている部分がかなり大きいのかも知れない。ただもちろん、事業自体も素晴らしく、かなりの改善実績を残されている器具を利用した「パワーアップ教室」や「パワーアップ PLUS 教室」は、器具も指導も最先端のものを取り入れられている。
　また、取組の中に、無資格でできる介護事業所で働く職員をサポートする業務を 1 回 2 時間程度行う「就労トライアル」というものがあったが、こちらは高齢者の方の健康づくり、生きがいや地域での活躍の場づくり、さらには収入にも繋がる上、市としては大きな初期投資の必要がなく、介護現場の人材不足等を緩和し、人材確保の支援にも繋がるため君津市でも直ぐに取り入れることができるかも知れないと感じた。是非機会が有れば提案させていただきたい。

6. 資料
介護予防の取組み ｜ 生駒市公式ホームページ
https://www.city.ikoma.lg.jp/category/25-3-1-1-0-0-0-0-0-0.html

7. 視察の様子



和泉市役所～新庁舎の整備についてとインターネット上の誹謗中傷や差別等の人権侵害のない社会づくり条例について～

1.和泉市概要
　面積：84.9km2
　人口：182,481 人(2024 年 12 月末)

2.視察の流れ
　①和泉市紹介
　②令和新政会長挨拶
　③出席職員紹介
　④新庁舎整備事業説明
　⑤議場見学
　⑥市庁舎見学

3.事前の質問に対する回答
～新庁舎の整備について～
Q.整備にあたり、市民からの意見は取り入れられましたのでしょうか？もしございましたら、お教えください。
A.各回テーマを絞った全 6 回の市民ワークショップを開催し、レイアウトに関する意見を基本計画に反映。また、パブリックコメントも実施し、その意見からは窓口カウンターを課ごとに設置する案を取り入れている。

Q.これまでの庁舎に無かった新たな設備、機能などはございますでしょうか？
A.①中央管理室で 24 時間、空調と照明の管理ができるようになった。
　②誰でも利用できる飲食物販棟
　③デジタルサイネージ
　④庁舎ライトアップ
　⑤キッズコーナー
　⑥授乳室
　⑦会議室を増やし、更衣室を全職員が使えるだけの数を確保した。

Q.防災面で工夫された点などございますでしょうか？
A.別館は耐震補強。新庁舎は免震ゴムで揺れを吸収し建物自体の損傷を軽減できるようにし、防災拠点としての機能を維持できるようにしている。電力対策として新庁舎 7 階に発電機を設置していて、燃料が満タンであれば連続 72 時間の可動が可能であり、燃料の補充を続ければ連続 7 日間可動し続けられる。工夫としては各執務室において非常用発電機の電気回路が判るようになっている。屋上には計 60kw の太陽光パネルが有り、非常時には畜電分が使用できるようになっている。給水対策については、飲料用の浄水と洗浄用の雑用水に系統化を行っていて、地震発生時には緊急遮断弁付受水槽が作動し 4 日分程度の浄水が確保できるようになっている。雑用水についても、雨水を雑用水として常に貯蔵し

ており、雨水利用は節水にも役立っている。

Q.新庁舎の整備中、市役所の通常業務に何か変化はございましたでしょうか？
A.業務に大きな変化は無かったが、会議室の不足があった。来庁者導線に変化があったので、市民の方には不便があったかと思われる。

Q.新庁舎の整備と共に駐車場も有料化されたとのことですが、有料化後の駐車場利用に何か変化はございましたでしょうか？
A.有料化当初は清算忘れが頻発していたが、開始して 2 年経過後は特に問題が無くなった。長期間の無断駐車、不正駐車が無くなった。

Q.新庁舎グランドオープンイベントの来場者数をお教えください。
A.500 人以上。来賓は 100 名程度。

Q.新庁舎グランドオープンイベントにて埋設されたタイムカプセルの内容をお教えください。
A.市内在住の中学生を対象にし「未来の自分へのメッセージ」を手紙として書いてもらい、その手紙を納めた。なお、手紙は市施行 100 周年の際に掘り出して本人へ郵送する予定となっている。

～インターネット上の誹謗中傷や差別等の人権侵害のない社会づくり条例について～※書面のみでのやり取り
Q.議案として上程されるまでの間、会派間の調整など、どのような動きがあったのか教えてください。
A.ひとつの会派が主体となり、会派代表者会議において議会運営委員会で提案することの合意形成を得た後に調整した結果、１会派以外の賛同を得ることができたため、会派提案として上程しました。

Q.条例制定後、どれくらいの相談がありましたでしょうか。
A.３件（本市人権文化センター総合生活相談事業にて対応）　※総合生活相談事業は和泉市人権協会に業務委託しております。

Q.条例制定後の特別な取組を教えてください。
A.①令和４年度いのち・愛・人権市民の集い
（人権週間（12 月 4 日～10 日）行事）
開催日時：令和４年１２月１０日（土）午後２時～３時３０分
演題：インターネット上の誹謗中傷・ネットリテラシーについて
講師：木村 響子氏(NPO 法人 Remember HANA 代表)
対象：300 人

②令和 5 年度和泉市人権推進協議会総会研修会
開催日時： 令和５年５月３０日（火）午後２時～午後３時３０分
演題：インターネットに関する人権について
講師：大阪大学 人間科学研究科人間科学専攻 准教授 辻 大介氏
対象：人権推進協議会委員 138 人

③令和 5 年度人権啓発研修事業＜子どもの人権問題＞
開催日時：令和５年１０月２２日（日）午後１時３０分～４時
演題：なんか心配 ネットと子ども～仕組みを知って被害を防ごう～
講師：篠原嘉一氏（兵庫県情報セキュリティーサポーター）
対象：40 人

④令和 5 年度いのち・愛・人権市民の集い
開催日時：令和５年１２月３日（日）午後２時～３時３０分
演題：言葉の責任 ネットの被害者・加害者にならないために
～命の大切さ、人生の大切さ、あきらめない心～
講師：スマイリーキクチ氏 （タレント）
対象：300 人

⑤令和 6 年度人権推進協議会総会研修会
開催日時：令和６年５月２９日（水）午後２時～３時３０分
演題：インターネットにおける人権侵害（問題）について
講師：子供とネットを考える会 磯崎 文氏
対象：人権推進協議会委員 113 人

⑥その他 条例施行のチラシを作成し、市内の各施設等に配架。また、ホームページや広報で周知を行った。

⑦本市人権文化センター総合生活相談事業の業務のひとつとして、和泉市（地名等を含む）、和泉市民に関わる差別的な情報や書き込み等のうち、被害者を特定、判明できるもの、また、不特定多数の人に認識されるものを対象に、インターネット上における差別的な情報や書き込みに対するモニタリングを週１回（２時間程度）実施しています。

Q. ６月を「インターネットの誹謗中傷防止重点啓発月間」とされていますが、何か理由はあるのでしょうか。
A. 令和 4 年 6 月 30 日から施行された「和泉市インターネット上の誹謗中傷や差別等の人権侵害のない社会づくり条例」によって、6 月を「インターネットの誹謗中傷防止重点啓発月間」としています。

Q. 令和４年に市民アンケートを実施されていますが、どのような方法や媒体で行われたのでしょうか。

A.人権に対する市民の意識や現状についての考えを把握することを目的にオンラインアンケートを実施しました。
　対象者：和泉市公式ライン登録している者約 77,000 人
　実施期間：令和 5 年 1 月 9 日(月)～1 月 22 日(日)
　設問数：10 問（年齢・性別の質問 2 問を含む）
　回答数：1,328 件

Q.「相談支援体制の整備」とありますが、条例制定後、特別に整備された窓口などありましたら教えてください。
A.条例制定後は、本市人権文化センター総合生活相談事業の中の相談窓口で、相談を受けています。

4.各議員からの質疑等
鶴岡議員
Q.建物を作る際にどの段階から設計を委託したのでしょうか？ある程度配置的なものは計画していたのか、最初から設計も業者に委託をしていたのか、どの段階から図面を引かれたかお教えください。
A.設計から委託し、提案いただいたものを市の担当部署が調整し最終的な基本設計を完成させる。

Q.雨水を利用する設備は地下への埋設だと思われるが、トイレ 4 日分貯留できるのはポンプアップをするための電気系統からの 4 日分なのか、それとも庁舎内で利用する人数なのか、何を以っての 4 日分なのかお教えください。
A.電力から。3 日間程度停電している可能性を考慮して 4 日分としている。

Q.災害時に避難されてきた人数も想定されての 4 日分でしょうか。
A.通常時の利用人数からの 4 日分を想定している。

Q.太陽光パネルを今後は近年開発された窓ガラスに貼ることができるフィルム式に変えていく考えはあるのでしょうか。
A.検討していない。今後の検討事項になっていくと思われる。

Q.太陽光パネルの清掃は委託でしょうか。
A.委託している。

Q.新庁舎となりきれいになったことでの職員からの声は。
A.きれいだと過ごしやすい。業務が行いやすい。

Q.更衣室が広くなった理由は職員からの要望でしょうか。
A.限られた人の分しか用意されていなかったので、福利厚生として全職員が利用できるのは当然だろうとのことから広くした。

Q.和泉市役所職員の男女比は？男性更衣室の方が広かったため。
A.男性 58%、女性 42%となっている。着替えが少ないであろう事務職が女性の方が多いことから。

Q.新庁舎のこだわった点を教えてください。
A.フリーアドレスの導入。人事異動に対応できるよう一人一つの机ではなく長机の導入。和泉市の木材・いずもくを使用し、至る所に配置している。

三浦議員
Q.立地について住民投票を行われたとのことだが。
A.議員提案により行われた。

Q.建て替えた庁舎のために仮設庁舎を建てたりしたのか。
A.その都度引っ越しをしながら業務はそのまま行えるようにした。

Q.免震構造だが、そのゴムの耐用年数はどれくらいでしょうか。
A.建物の耐用年数分は充分に持つと伺っている。50 年以上は持つと思われる。

Q.解体するに当たってアスベストは無かったでしょうか。
A.出てきた。設計段階で調査し、出てきた分は適切に処理をした。

Q.アスベストの処理費用は。
A.新庁舎建設事業費に含まれている。

Q.資材の値上がりの影響を受けましたでしょうか。
A.ギリギリ受けずに建設できた。2%増で済んだ。

Q.補助金関係ですが、30%は地方交付税を活用しているとのことですが、その他に利用した国の補助金などございますでしょうか。
A.ない。

Q.積立はしていたのか。
A.庁舎基金を積み立てていた。積立自体は 18 億円であった。

5.所感
　新庁舎を建てる際に、どのようなことを考えなければならないのか、どのようなことが起きると想定しなければならないのか、そしてどのような効果をもたらすことに繋がるのか非常に参考になった。また、駐車場の有料化や雨水の貯留、屋上の太陽光パネル等は、新庁舎でなくとも、さらには市役所でなくとも取り入れられる取り組みかも知れない。直ぐに取り入れられそうなものは取り入れることができないか、提案できるものは提案させていただきたい。

6. 資料
新庁舎整備に関するお知らせ／和泉市ホームページ
https://www.city.osaka-izumi.lg.jp/kakukano/soumubu/soumuka/choushaseibi/1492054893929.html

7. 視察の様子

えみくる ARIDA, BIG SMILE PARK～有田市健康スポーツ公園について～

1.有田市概要
面積：36.91km2
人口：25,721 人(2025 年 1 月)

2.視察の流れ
会場：えみくる ARIDA
①令和新政会長挨拶
②有田市生涯学習課長挨拶
③有田市概要説明
④有田市健康スポーツ公園についての説明
⑤質疑応答
⑥施設見学
Ⅰ.えみくる ARIDA
Ⅱ.BIG SMILE PARK

3.事前の質問に対する回答
Q.計画から稼働までの期間を教えてください。
A.平成 31 年 3 月末に有田市運動型健康増進総合施設基本構想を策定し、それに基づいて建設開始。令和 2 年 8 月にえみくる ARIDA が、令和 6 年 3 月に BIG SMILE PARK が供用開始となった。

Q.「BIG SMILE PARK」や「えみくる」の名前の由来を教えてください。
A.施設整備全体を「BIG SMILE PROJECT」と名付けている。「BIG SMILE」は 8 つのコンセプトの頭文字から名付ける。そこから、公園の名前も決定。えみくるについては、一般公募により決定し、由来は「笑み」が「来る」、人が来ることによって笑顔が溢れるようにという思いから。

Q.えみくるドームやえみくるフィールドで、プロスポーツのイベントなど行われたことはありますでしょうか。
A.オープニングイベントには大久保嘉人さんが登場。九鬼靖太さんと九鬼巧さんによるかけっこ教室や北野颯太さんによるサッカー教室。

Q.これまで最大どれほどの人が集まったことがあるのでしょうか。また、その時のイベントも教えてください。
A.えみくるマルシェの約 4,400 人。エンジン 01 の約 3,000 人。

Q.BIG SMILE PARK を目的に市外からいらっしゃる方はどれくらいいらっしゃいますでしょうか。
A.約 50％は市外からの来場者。大阪や兵庫からも来場される。

Q.貸出用のテントは、何張用意されておりますでしょうか。
A.4張。１張500円での貸出。

Q.えみくるランドでは、大きな事故などは起きていないでしょうか。
A.今のところ大きな事故は起きていない。

Q.総事業費27億とありますが､各施設の整備費用はいくらになるのでしょうか。
A.正確には総事業費27.6億円。うち工事費24億円。
①多目的グラウンド5.5億円
②屋根付き多目的ひろば8億円
③遊具ひろば3億円
④健康遊具ルート0.5憶円
残りがトイレ2億円
その他街灯、植栽、駐車場等5億円

Q.有田市健康スポーツ公園整備における財源内訳を教えてください。
A.BIG SMILE PARKについては社会資本整備総合交付金が約12.8億円、都市公園整備事業債が約13.2億円、ふるさと応援基金の取り崩しが約1.1億円。20.5億円が補助金となる。えみくる ARIDA については水泳場整備基金の取り崩しが約1.7憶円、公共施設等木造木質化支援事業補助金が約0.1憶円、水泳場整備事業債が約9.3憶円、ふるさと応援基金の取り崩しが約2.9億円で合計約14億円。

Q.Park-PFI等の交付金は活用されたのでしょうか。
A.特に活用はしていない。

Q.市の負担額はいくらでしょうか。
A.BIG SMILE PARKは実質の市の負担が26%。えみくるARIDAは実質の市の負担が42%。

Q.健康スポーツ公園の指定管理料はいくらでしょうか。
A.BIG SMILE PARKは年間およそ2,300万円。

Q.健康スポーツ公園の日常的な利用人数及び収入はいかほどでしょうか。
A.月平均の来場者が12,800人で、収入は590,070円。

4. 各議員からの質疑等
鶴岡議員
Q.スポーツ選手を呼んでのイベントは今後も定期的に行っていくのでしょうか。
A.指定管理者が色んなイベントを考えている。周年イベントはやりたいと思っているが、必ず行うイベントはない。

Q.建設時敷地内に民間の施設を入れる構想は無かったでしょうか。
A.えみくる ARIDA は設計の段階から民間の指定管理者に関わってもらっている。BIG SMILE PARK は当初から基本構想が固まっていたため、民間は関わっていない。ちなみに指定管理者は別々の指定管理者が行っている。

Q.公園をこの土地に選んだ理由をお教えください。
A.ENEOS さんの社宅があった跡地を利用。

大和議員
Q.外部からイベントの問い合わせされる団体はどのような団体がいらっしゃいますでしょうか。
A.サッカー場：県のサッカー協会※公式戦が行える認可を受けているため、ティラノサウルス競争、水鉄砲のイベント

Q.プロの団体からの問い合わせはあったか。
A.ありません。

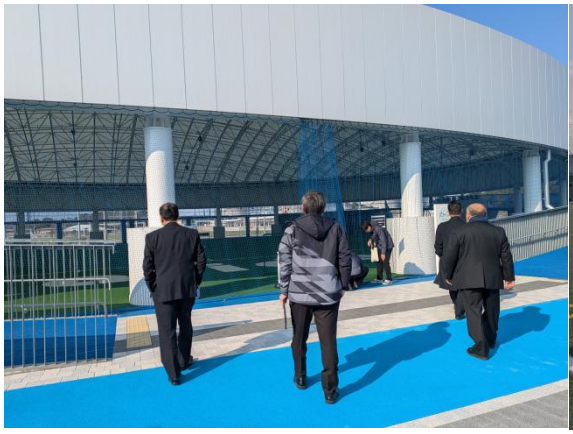
Q.プロの団体を誘致されるお考えは。
A.特にありません。大学の合宿などの誘致は積極的に行っていきたいと考えている。プロスポーツの誘致までは設備として難しい。また、駐車場が少ないため集客も難しい。

Q.今後駐車場の拡大は考えられておりますでしょうか。
A.考えているがなかなか土地が難しい。

三浦議員
Q.面積はそれぞれどれくらいでしょうか。
A.えみくる ARIDA：0.6ha, BIG SMILE PARK：2.4ha

5.所感
　月平均で 12,800 人の利用があり、しかも 50%が市外からとは、魅力的な公園を作ることでそれがその市の名物となり得ることの好事例と言えるのではないかと思う。君津市の内みのわ運動公園も、是非新たな君津市の名物・名所となるような公園にしたい。

6.資料
有田市民水泳場
https://shisetsu.mizuno.jp/m-7277

ビッグスマイルパーク
https://bigsmile-park.com/

7. 視察の様子